

# 宮城県における 気候変動への適応に 関する取組

令和2年1月22日

宮城県環境生活部環境政策課

高橋 央

# 取組の狙い

- ・「気候変動への適応」という考え方の認知度向上
  - ・「気候変動への適応」の重要性の理解促進
  - ・地域で適応策に取り組む人材の育成
- ⇒サイエンスカフェやシンポジウムなどの取組を、「**気候変動適応推進事業**」として業務委託により実施



# 取組① サイエンスカフェ

目的 気候変動影響の現状と取るべき適応策  
に関する認知を深める

対象 一般、大学生など

内容 有識者からの講演

グループディスカッション

日時 ①令和元年9月20日(金)  
②令和元年12月8日(日)

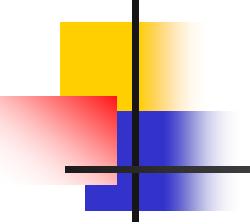


# サイエンスカフェの様子



## ＜参加者の反応＞

- ・浸水予想地域の広さに衝撃を受けた
- ・適応策を考えにくい分野もあった



## 取組② シンポジウム

目的 気候変動影響の現状と取るべき適応策  
に関する気づきを掘り起こす

対象 一般、事業者、自治体職員など

内容 有識者からの講演  
事例発表

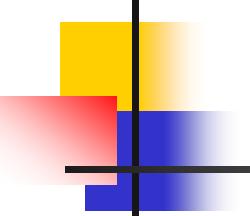
日時 令和元年11月21日(木)

# シンポジウムの様子



## ＜参加者の反応＞

- ・将来のことを考えると今何とかしないといけない
- ・「適応」についてもっと知る機会があってよい



## 取組③ ワークショップ

**目的** 気候変動への適応策を考え、自ら実践する人材の育成

**対象** 一般、事業者、自治体職員など

**内容** 有識者からの講演

グループワーク

**日時** ①令和2年1月18日(土)

②令和2年2月1日(土)



# 今後の課題

- ・適応への興味・関心を捉えて理解や認知を広げるための仕掛けづくり
- ・環境教育との連携など若い世代へのアプローチ
- ・地域レベルでの気候変動影響予測  
(例:沿岸部、内陸部、山間部)
- ・地域の主産業における影響予測  
(例:稻作、果樹、養殖水産物)
- ・地域適応センターの確保など推進体制の構築